

ご使用前に本添付文書をよくお読みください

血小板凝集能キット

コラーゲンリエージェント“ホルム”

[全般的な注意]

- 本製品は体外用診断医薬品のため、いかなる療法にも使用しないで下さい。
- 診断については、本製品による検査結果に加え、臨床症状や他の検査結果とあわせて総合的に判断してください。
- 記載された使用方法以外の使用については、測定値の信頼性を保証いたしかねます。

[形状・構造等(キットの構成)]

コラーゲン試薬 1 mL** × 1 本
(馬の腱コラーゲン 1 mg/mL)
SKF バッファー 10 mL × 4 本

[使用目的]

血小板凝集能の測定

[測定原理]

Born によって開発された生体外における血小板凝集能測定法に基づき、一定の速度で攪拌されている PRP(多血小板血漿)に凝集惹起物質であるコラーゲンを添加すると血小板が互いに結合し凝集塊を作ります。凝集反応が進行している PRP に光を通過させるとその透過度が増していきますが、これを時間の経過で追った凝集曲線をチャート上に記録させて得られる凝集パターンから最大凝集率や最大凝集時間等を読み取ることが出来ます。

[用法・用量(操作方法)]

試薬の調整法

コラーゲン試薬に SKF バッファーを加え、希望する濃度に希釈後使用します(本キットのコラーゲンは 2~3 $\mu\text{g/mL}$ で正常人の血小板を凝集させます)。希釈液は使用日毎に作製し、氷浴中に保存して、その日のうちに使用します。

検体の準備

採血した血液 9 容と 3.8%クエン酸ナトリウム溶液 1 容を混和します

多血小板血漿(PRP)	乏血小板血漿(PPP)
この血液を室温にて 100 $\times g$ で 10 分間遠心分離後上清を採取します	残りの血液を室温にて 2000 $\times g$ で 10 分間遠心分離後上清を採取します

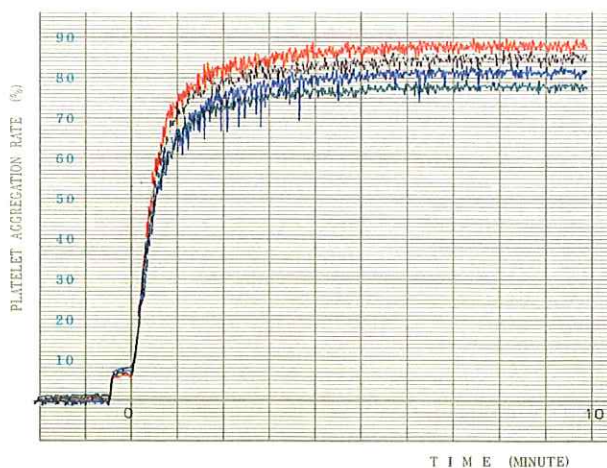
血小板凝集能測定

測定条件及び操作法は、測定に用いる血小板凝集能測定装置の操作手順に従ってください。

多血小板血漿(PRP)	乏血小板血漿(PPP)
測定用キュベットに必要な量を入れます	別の測定用キュベットに必要な量を入れます
PRP と PPP のベースラインを設定します	
必要量のコラーゲン液をキュベットに添加します	
5~10 分間血小板凝集能曲線を観察します	

結果

コラーゲンリエージェント“ホルム”による血小板凝集の典型的なパターンを図に示します。



[操作上の注意]

検体の採取

- 血小板を扱う際には全てシリコナイズしたガラスかプラスチック製の容器、器具を使用します。ガラスやポリカーボネートプラスチックは使用しないでください。
- 血小板凝集能に影響を与える薬剤*の服用者の測定は避けてください。
非ステロイド抗炎症薬、ペニシリン系抗生剤、プロスタグランディン、チピリダモール、パパベリン、コルヒチン、L-アスパラギナーゼ、レセルピン等

検体の調製

- 溶血血液、赤血球の混入した血漿は使用しないでください。
- 検体の調製は全て室温で行ってください。

測定

- コラーゲン試薬は開封後、無菌状態且つ密封状態を保ってください。
- コラーゲン試薬は使用直前に気泡が生じないように注意しながら振り混ぜて、均一に分散させてください。
- コラーゲン試薬の希釈液は使用日毎に調製し、氷浴中に保存してその日の内に使用してください。
- コラーゲン試薬は 2～8℃で保存してください。冷凍させると活性が低下する恐れがあります。
- 検体をキュベットに分注する時、又コラーゲン液を検体に添加する時には気泡が混入しないよう注意してください。

[使用上又は取り扱い上の注意]

- 使用期限を過ぎた試薬は、測定値の信頼性を保証致しかねますので使用しないでください。
- キット中の容器、付属品等は他の目的に転用しないでください。
- 異なったロット番号のキットの試薬を混ぜて使用しないでください。
- SKF バッファーはイージーカットアンプルとなっておりますが、アンプルカッターで切る時には十分注意し、ケガのないようにしてください。

[貯蔵方法・有効期間]

2～8℃にて保存、有効期限は外箱に記載

[包装単位]

コラーゲンリエージェント“ホルム”1セット中
コラーゲン試薬 1 mL**×1本
(馬の腱コラーゲン 1 mg/mL)
SKF バッファー 10 mL×4本

[主要文献]

Born, G.V.R.: Aggregation of Blood Platelets
by Adenosine Diphosphate and Its Reversal.
Nature 194:927-929 (1962)
Packham, M.A.: Standardization of Collagen:
Consideration of Current Practices in Testing
Collagen-Induced Aggregation. Thromb. Haemostas.
(Stuttgart) 52 (3):358-361 (1984)

製造販売元 (問い合わせ)

モリヤ産業株式会社
東京都杉並区和田 3-36-7
TEL: 03 (5306) 6267
FAX: 03 (5306) 6268
e-mail: info@morisan.com

製造元 TAKEDA AUSTRIA GMBH*